

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.28 2017/6/6

真夏日の上野の広域観光フェア、大盛況！
5月20日21日の両日、恒例の観光フェアに匠会も出展。小刀の鍛冶体験コーナーも若者や親子連れ、ご夫婦連れなどが次々と参加して楽しそうに製作に汗をかいていました。今回は外国からの観光客も多く、日本の刃物には関心が強いようでした。



まるで真夏のような陽ざしの下、会員スタッフ連携してがんばり、今回も上々の成果をあげました。

与板鍛冶体験工房いよいよ6月24日開設へ
これまで時間をかけて準備してきた「体験工房」が遂に与板にオープン！与板鍛冶衆の旗のもと、伝統技術の伝承をねがう個々の鍛冶職人が今回結集しました。これは打刃物の歴史に新たな1ページを記すものとなるでしょう。一步前へと踏み出す鍛冶屋さんたちの心意気が感じられ、与板地域の活性化につなげる嬉しいニュースです。

鍛冶衆メンバーの協力で、すっかり広く片付いた旧古見さん工房、機械の点検調整も終わってよいよ最後の製作指導リハーサルにとりかかっています。



体験希望者に製作させる「切り出し」の工程を確認。それぞれ作っている刃物の違いを超えて、真剣に研修しあいます。



片付けも全員作業で。これは使える、それは廃棄へ。体験に来た人たちが動きやすいように整頓していきます。

地域おこし協力隊 島田拓弥くん、着任！

6月1日より与板に着任した島田君、一日も早く与板地域になじんで頑張りたいと連日地域と各鍛冶場をめぐって学んでいます。島田君の祖父は村上の宮大工だったとか。小さい頃から道具を眺めて育ち強い関心を持っている若者です。一致協力してこの美しい「職人の卵」を見守っていきましょう。

見ようみまねでハンマーにもさっそくの挑戦。

